



インタビュー

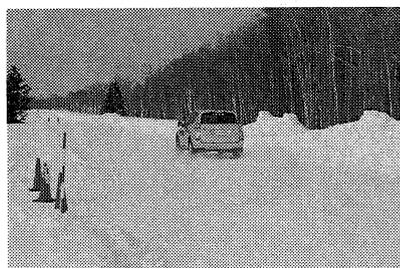
ケー・ブラッシュ商会(80335560)が代理店となつて展開している、フランスのレップ・インターナショナル(レップ社)製のゴム射出成型機のデモ機が4月中にセツトアップし5月から実際にテストランを受付ける体制が整つた。ケー・ブラッシュ商会が現在提案中のレップ社製の縦型射

### REP社

アジア・パシフィック・マネージャー  
パスカル・コンソラロ氏



広大な敷地を有するTTC



約1kmに及ぶ直線も

TTCは、2015分、旭川空港から10分とロケーションの利便性も高い。敷地面積は東京ドームの19倍強に当たる9万6462平方メートルで、従来の冬用タイヤテストコース「T\*MARY」(北海道上川郡鷹栖

の中で、評価数の増加、評価手法の高度化が進み、「T\*MARY」では手狭になっていた。TTCは、直線が約1キロメートルに及ぶ庄雪路のほか、氷盤路、登坂路、雪上/氷上旋回路、ハンドリング路を備える。乗用車で時速100キロメートルまで、安価で大量生産していく構造から製造部品の高付加価値化は進むと考え、それに比例し、生き残れる高品質の製品を製造することに貢献できるゴム射出成型機として提案している。

金星ゴム工業(本社、東京都墨田区八広、杉本浩志社長)は、このほどフッ素ゴムをはじめ全ての合成ゴムに対応する、肉厚が0.5ミリ以下の超肉薄チューブを開発した。同社によると、これまでシリコンゴム製チューブでは肉厚0.5ミリのものは製品化

されていたが、一般の合成ゴムでは最低でも1ミリの肉厚が必要で、0.5ミリ以下の製造は難しいといわれていた。同社では、長年にわたり蓄積してきた独自の配合や押出成形技術などとしている。

用途としては、保護チューブとしての使用が見込まれるが、同社では「ユーザーからの提案などで新しい用途開発が生まれる可能性がある」として、今後の販売展開に期待を寄せている。

射出成型機は「G9及び10シリーズ」などで「G10」は、レップ社の第10世代の高機能な縦型射出成型機だ。このほど来日したレップ社のアジア・パシフィック地域担当セールス・マネージャーの

「中国の景気低迷が表面化しているが、「中国の景気は低迷している」

1年だった。当社の売上げの9割は輸出市場で構成され、特にアジア地域のマーケットは非常にアクティブで売上げに貢献した」

「中国の景気は低迷している」

「日本でのデモ機設置について。デモ機は縦型射出成型機G9Aの300トンのS59モデルで4月に滋賀にセツトアップし、5月には本格的に受け入れ体制も整っている予定で、金型や原材料を持ち込んで頂き従来機と全く同じ条件でデモができ、正しい比較と優位性が実証されると考えている。是非実際に体験して欲しい」

「R65」を2月下旬から発売している。カラーはブルー、サイスはS、M、L、LLの4サイズで、オプション価格。同商品は、油や摩耗に強いニトリルゴムを指先から肩口まで継ぎ目なく全面にコーティングした全長65センチのロングタイプ。

パスカル・コンソラロ氏に近況と日本にデモ機を設置することでの抱負を聞いた。

「中国、インド製品は主にアジア向けか。製造拠点をグロバルに展開しているのは、ユーザーも広くグローバル化しているから求められるコストと機能やグレードに合わせて拠点を選ぶ方針

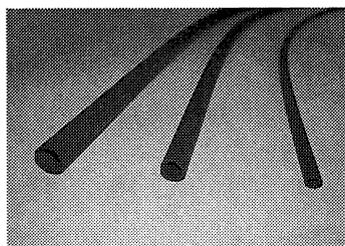
「中国、インド製品は主にアジア向けか。製造拠点をグロバルに展開しているのは、ユーザーも広くグローバル化しているから求められるコストと機能やグレードに合わせて拠点を選ぶ方針

「中国、インド製品は主にアジア向けか。製造拠点をグロバルに展開しているのは、ユーザーも広くグローバル化しているから求められるコストと機能やグレードに合わせて拠点を選ぶ方針



ニトリルタイプR65

超肉薄チューブ



「R65」を2月下旬から発売している。カラーはブルー、サイスはS、M、L、LLの4サイズで、オプション価格。同商品は、油や摩耗に強いニトリルゴムを指先から肩口まで継ぎ目なく全面にコーティングした全長65センチのロングタイプ。